

外科医療確保特別加算の施設基準に係る届出書添付書類

1 算定を行う診療科名 (対象となる診療科名を全て記載)	() 科
2 届出状況 (該当するいずれか1つに✓を記載)	☐ 「A104」特定機能病院入院基本料 ☐ 「A200」急性期総合体制加算
3 長時間・高難度手術の年間手術件数 (届出前年1月～12月の1年間の実績)	() 件
4 勤務環境の整備状況(対象となる全ての診療科の状況を記載)	
診療科名	() 科
常勤医師数	() 名
うち、当該診療科の経験が5年以上の常勤医師数	() 名
勤務体制 (いずれか1つに✓を記載)	☐ チーム制 ☐ 交代勤務制
勤務間インターバルの確保	☐
診療科名	() 科
常勤医師数	() 名
うち、当該診療科の経験が5年以上の常勤医師数	() 名
勤務体制 (いずれか1つに✓を記載)	☐ チーム制 ☐ 交代勤務制
勤務間インターバルの確保	☐
5 他の医療機関との連携 (該当する全ての□に✓を記載)	☐ 地域の他の保険医療機関と、対象手術の実施体制・術後フォローアップ体制等について、事前に協議を行っている ☐ 届出医療機関及び当該他の保険医療機関において、協議内容を公表し、対象となる患者に説明を行っている
6 研修体制の整備	☐ 対象診療科の専門研修体制が整備されている
7 対象診療科における処遇に係る配慮	
地域医療体制確保加算2において、対象診療科の処遇への配慮を実施	☐ 実施している ☐ 実施していない
加算総額に占める手当額の割合	() %以上
うち常勤医師への支給割合	() %以上

〔記載上の注意〕

- 1 外科医療確保特別加算の対象手術を主として実施する診療科名を全て記載すること。
- 2 「3」については、届出を行う年度の前年1年間（令和8年度に届け出る場合は、令和7年1月～令和7年12月の1年間）の対象手術の実施件数を記載すること。
- 3 「4」の常勤医師数については、対象となる全ての診療科において、当該診療科の経験を5年以上有する常勤医師数の合計が6名以上であること。
- 4 「7」の加算総額の手当の割合については、届出時には予定の割合を記載し、加算算定後は、現に記載の割合以上の手当を支給すること。